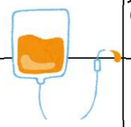
入院診療計画書　帝王切開手術をお受けになる＿＿＿＿＿＿＿＿様へ

患者番号　　４階北病棟　　号室

【主治医　　です。　印　】
【 4階北病棟　看護師長の　　です。】
【管理栄養士の＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です】

病名　既往帝王切開　骨盤位
筋腫核出術後 など　　症状　なし　　年　月　日 【患者または代理者同意サイン　　】

	入院日（手術前日）	手術当日 手術前	手術当日 手術後	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
説明・手続き	□主治医から入院・手術・治療に関する説明 □外来にて麻酔科医から麻酔・痛み止め等に関する説明	時間前に、ご家族に来院してもらいます。 	□手術後、主治医からご家族に手術に関する説明があります。				□退院診察時に主治医から退院後の生活および1ヶ月健診についての説明があり、再診予約票をお渡しします □個別の退院指導 退院後の授乳の方法について指導します	**基本的には午前中退院です**
	□助産師から入院中の流れについて説明 □バースプランの確認		手術室で赤ちゃんと最初の面会をします 病室に帰室後、お母さんと赤ちゃんの状態が安定していれば病室で赤ちゃんと面会します。 	出生証明書をお渡しします	□10時　授乳指導 □13時　授乳開始	集団指導 □沐浴指導（3日目）　9:30～　集団指導室 沐浴実習（４日目）時間は相談 ベビー室 指導（火,金)11:00～　集団指導室 （月,木)11:00～　集団指導室 □帝王切開手術についてのふりかえり(3～5日目の間)	□ □調乳 □退院指導	□母子手帳に産後の記録をし、渡します。
検査	□胎児心拍計装着 □エコー □内診 □血液検査（必要時）	□胎児心拍計装着	□（血液検査）	□血液検査			□血液検査 □血圧測定 □尿検査 □体重測定	
処置	□手術室に持参する物と母子手帳を病棟スタッフに預けます。	□胎児心拍計装着 □浣腸 □手術部位の除毛 □手術着に着替え 歩いて手術室に行きます。	必要に応じ酸素マスク着用します。 病棟スタッフが頻回にうかがい、手術後の経過を観察します。（検温） 手術室よりﾌｯﾄﾎﾟﾝﾌﾟを装着します。	□創の観察 □検温（３回） □歩行開始時にﾌｯﾄﾎﾟﾝﾌﾟをはずします。	□朝の創の観察 □検温（3回）		□退院診察	
注射・内服			硬膜外チューブから持続的に痛み止めが入ります。 痛みがとれない場合には筋肉注射あるいは坐薬を使用します。		硬膜外チューブは薬液の量を減らしながら抜去します。（3日目～4日目）		必要に応じ、鎮痛剤を内服します。	
		手術の順番が2番目以降の時には、手術の前に点滴をします。 	翌日夕方まで持続点滴をします （1日2000ccの補液、抗生剤、子宮収縮剤） 必要に応じ鉄剤を点滴します。 (食事開始後は内服になることもあります)	夕方の抗生剤と子宮収縮剤が終了後に針を抜きます。 必要時、血栓予防の注射を2回/日行ないます。	毎食後、抗生剤と子宮収縮剤を内服します。 必要時血栓予防の注射を2回/日行ないます。 			
安静度	病棟外に出るときには病棟スタッフに一声かけてください。		ベッド上ですごします。　手術後2時間は仰向けです その後は体の向きを変えられます。	歩き始めます。 (初めての時にはスタッフが付き添います)	病院内は自由です。			
食事	□0時以降は,絶食です。 □飲水は麻酔科医の指示があります。	絶食です。 うがいはできます。 	麻酔が覚めたらうがいはできます。 飲んだり食べたりはできません。	昼から飲水ができます。 夕方から五分粥がでます。	朝；全粥 昼からは産後食です 			
排泄		手術前にトイレを済ませ,ディスポショーツをつけます	膀胱カテーテルが留置されます。	午前に膀胱カテーテルを抜いた後、歩いてトイレにいきます。	必要に応じ、浣腸あるいは下剤を内服します。			
清潔	シャワーを浴びてください。		スタッフが洗面を手伝います。	スタッフが体を拭きます。	自分で体を拭きます。 洗髪はスタッフが行ないます。	背中の痛み止めが外れ、創部に異常がなければシャワーに入れます		
授乳	バースプランを用いて産後の授乳の希望を確認します				授乳指導後より母子同室・授乳を開始します。 			

特別な栄養管理の必要性　（　あり　・　なし　）

＊状態に応じ、予定が異なることも考えられます。何か質問があれば看護師にお聞き下さい。

H29年5月改訂

山梨大学医学部附属病院産科病棟　　055-273-6778（4階北病棟）